

4-1 学校の目的を達成するために、教育研究活動を将来にわたって適切かつ安定して遂行できるだけの財務基盤を有しており、活動の財務上の基礎として、適切な収支に係る計画等が策定され、履行されていること。また、学校の財務に係る監査等が適正に実施されていること。

【留意点】

- 学校の目的に沿った教育研究活動を安定して遂行できるよう校地、校舎等の資産を保有しているか、経常的な収入が確保できているか、債務超過や支出超過の状態がある場合、運営上問題とならないものか等の状況について分析すること。

観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。

- 満たしていると判断する

自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 過去5年間の貸借対照表等による財務状態は適切な状況となっているか。 ■ なっている	◇過去5年間の貸借対照表等の財務諸表 資料4-1-1-(1)-01「H27貸借対照表」 資料4-1-1-(1)-02「H28貸借対照表」 資料4-1-1-(1)-03「H29貸借対照表」 資料4-1-1-(1)-04「H30貸借対照表」 資料4-1-1-(1)-05「R01貸借対照表」 資料4-1-1-(1)-06「H27損益計算書」 資料4-1-1-(1)-07「H28損益計算書」 資料4-1-1-(1)-08「H29損益計算書」 資料4-1-1-(1)-09「H30損益計算書」 資料4-1-1-(1)-10「R01損益計算書」 ◇長期未払金、長期借入金がある場合は、その内容を確認できる資料 ◇臨時利益又は臨時損失が計上されている場合は、その内容が確認できる資料 資料4-1-1-(1)-11「H27総勘定元帳（臨時損失）」 資料4-1-1-(1)-12「H28総勘定元帳（臨時損失）」 資料4-1-1-(1)-13「H29総勘定元帳（臨時損失）」 資料4-1-1-(1)-14「H30総勘定元帳（臨時損失）」 資料4-1-1-(1)-15「R01総勘定元帳（臨時損失）」 資料4-1-1-(1)-16「H27利益分析表(決算報告書関連部分)」 資料4-1-1-(1)-17「H28利益分析表(決算報告書関連部分)」 資料4-1-1-(1)-18「H29利益分析表(決算報告書関連部分)」		

	資料4-1-1-(1)-19 「H30利益分析表(決算報告書関連部分)」		
	資料4-1-1-(1)-20 「R01利益分析表(決算報告書関連部分)」		
(2) 校地、校舎等の資産を保有しているか。 ■ 保有している	◇その内容を確認できる資料 資料4-1-1-(2)-01 「校地、校舎等の資産内容を確認できる資料」		
(3) 過去5年間に於いて運営費交付金、授業料、入学料、検定料等の経常的な収入を確保しているか。 ■ 確保している	◇過去5年間の運営費交付金、授業料、入学料、検定料等の収入状況 資料4-1-1-(3)-01 「運営費交付金、授業料、入学料、検定料等の収入状況」 ◆確保できない年があった場合は、実状を踏まえて、資料を基に記述する。		
(4) 過去5年間の収支状況において支出超過となっていないか。 ■ 支出超過となった年があった	◇過去5年間の資金収支計算書及び消費収支計算書 資料4-1-1-(1)-16 「H27利益分析表(決算報告書関連部分)」 資料4-1-1-(1)-17 「H28利益分析表(決算報告書関連部分)」 資料4-1-1-(1)-18 「H29利益分析表(決算報告書関連部分)」 資料4-1-1-(1)-19 「H30利益分析表(決算報告書関連部分)」 資料4-1-1-(1)-20 「R01利益分析表(決算報告書関連部分)」 ◆支出超過となった年があった場合は、実状を踏まえて、資料を基に記述する。 鶴岡高専としては令和元年度支出超過となったが、高専機構全体として決算を行い調整している。		再掲 再掲 再掲 再掲 再掲
観点4-1-② 学校の目的を達成するための活動の財務上の基礎として、適切な収支に係る計画等が策定され、関係者に明示されているか。			
【留意点】なし。			
観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■） 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 ■ 満たしていると判断する			
自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 収支に係る方針、計画等を策定しているか。 ■ 策定している	◇収支に係る方針や計画策定に関する予算関連規程等 資料4-1-2-(1)-01 「R01予算配分方針」 ◇予算配分や収支に係る方針、計画等がわかる資料 資料4-1-2-(1)-02 「予算配分に関する会議議事録（将来構想・戦略会議）」 資料4-1-2-(1)-03 「予算配分に関する会議議事録（運営会議）」		
(2) (1)を関係者（教職員等）へ明示しているか。 ■ 明示している	◇予算の関係者（教職員等）への明示状況を把握できる資料 資料4-1-2-(2)-01 「教職員への明示状況を把握できる資料（教員会議）」		

観点4-1-③ 学校の目的を達成するため、教育研究活動（必要な施設・設備の整備を含む）に対しての資源配分を、学校として適切に行う体制を整備し、行っているか。

【留意点】 ○ 予算配分の方針が定められ、その方針に則り実際の予算配分が行われているか、プロセス（手続きの流れ）の適切性も含めて分析すること。 ○ 予算の配分状況と、その実績（執行状況）を対比させて分析すること。 ○ 校長裁量経費等の重点配分経費の配分基準等の策定状況（手続き、経路、決定機関等。）についても併せて分析すること。			
関係法令（設）第27条の2			
観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■） 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 ■ 満たしていると判断する			
自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学校の目的を達成するために、教育研究活動に対して適切な資源配分を決定する際、明確なプロセスに基づいて行っているか。 ■ 行っている	◇予算配分実績(教育経費、研究経費、施設設備費の配分実績)		
	資料4-1-3-(1)-01 「予算配分実績」		
	資料4-1-3-(1)-02 「教育研究設備維持管理費の申請及び配分額」		
	◇校長裁量経費等の重点配分経費を設定している場合は、その資源配分が把握できる資料		
	資料4-1-3-(1)-03 「外部資金獲得者への研究費の特別配分」		
	資料4-1-3-(1)-04 「科研費への応募に伴うインセンティブ」		
	◇予算関連規程等		
	資料4-1-2-(1)-01 「R01予算配分方針」		再掲
	◇予算配分に係る審議状況がわかる資料（議事録等）		
	資料4-1-2-(1)-02 「予算配分に関する会議議事録（将来構想・戦略会議）」		再掲
	資料4-1-2-(1)-03 「予算配分に関する会議議事録（運営会議）」		再掲
	資料4-1-2-(2)-01 「教職員への明示状況を把握できる資料（教員会議）」		再掲
	◇施設・設備の整備計画の全体像がわかる資料（学内全体のマスタープラン等。）		
	資料4-1-3-(1)-05 「キャンパスマスタープラン」		
	資料4-1-3-(1)-06 「施設・設備のバリアフリー化への配慮を示す資料」		
(2) 資源配分が、4-1-②の収支に係る方針、計画と整合性を有しているか。 ■ 整合性がある	◆資源配分と収支に係る方針、計画との整合性、執行状況との対応について、資料を基に記述する。その際、資源配分の決定プロセスの整合性についても言及する。		
	各年度の予算に係る計画については、将来構想・戦略会議において予算配分方針を定め、その方針により策定され適正に配分しており、運営会議での審議を経て校長が決定し、教員会議、コース会議及びグループ会議で教員に周知している。		
(3) 資源配分の内容について、関係者（教職員等）に明示しているか。 ■ 明示している	◇予算の関係者（教職員等）への明示状況を把握できる資料		
	資料4-1-2-(2)-01 「教職員への明示状況を把握できる資料（教員会議）」		再掲

■ 満たしていると判断する

4－1	特記事項	この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。		

評価の視点 4-2 学校の目的を達成するために必要な管理運営体制及び事務組織が整備され、機能していること。また、外部の資源を積極的に活用していること。			
観点4-2-① 管理運営の諸規程が整備され、各種委員会及び事務組織が適切に役割を分担し、効果的に活動しているか。 【留意点】 ○ 観点2-1-③の教育に係る組織等を除き、管理運営に係る体制について、分析すること。 ○ 組織図については、観点2-1-③の教育に係る組織等を含む、学校全体の教育研究及び管理運営全体がわかるものの提示が望ましい。 ○ 議事録又は議事要旨等については、過去1年分提示すること。 ○ 役割分担が適切であるとは、各種委員会及び事務組織等がそれぞれの役割分担において責任を有しつつ協力して円滑な管理運営の実現に資する状況にあることを想定している。			
関係法令 (法)第120条第3項 (施)第175条 (設)第10条			
観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■） 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 ■ 満たしていると判断する			
自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 管理運営体制に関する規程等を整備しているか。	◇管理運営に関する諸規程、整備状況がわかる資料		
■ 整備している	資料4-2-1-(1)-01「管理運営に関する諸規程（内部組織規程）」		
	資料4-2-1-(1)-02「管理運営に関する諸規程（鶴岡高専学則）」		
	資料4-2-1-(1)-03「管理運営に関する諸規程（将来構想・戦略会議規程）」		
	資料4-2-1-(1)-04「管理運営に関する諸規程（運営会議規程）」		
(2) 委員会等の体制を整備しているか。	◇諸規程、整備状況がわかる資料（組織図等）		
■ 整備している	資料4-2-1-(2)-01「管理運営に関する組織図・運営組織図」		
(3) 校長、主事等の役割分担が明確になっているか。	◇役割分担がわかる資料		
■ なっている	資料4-2-1-(3)-01「校長、主事等の役割分担がわかる資料（公務分掌）」		
(4) 事務組織の体制を規程等に基づき整備しているか。	◇規程等、整備状況がわかる資料		
■ 整備している	資料4-2-1-(4)-01「事務組織がわかる規程（事務組織等規程）」		
	資料4-2-1-(4)-02「組織（技術職員）がわかる規程（教育研究技術支援センター規程）」		
(5) 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保しているか。	◇規定等、教員と事務職員が構成員として構成されている会議体がわかる資料		
■ 確保している	資料4-2-1-(5)-01「教員と事務職員が構成員として構成されている会議（将来構想・戦略会議規程）」		
	資料4-2-1-(5)-02「教員と事務職員が構成員として構成されている会議（運営会議規程）」		
(6) (1)～(5)の体制の下、効果的な活動を行っているか。	◇活動状況がわかる資料（会議の開催回数、議事要旨等。）		
■ 行っている	資料4-2-1-(6)-01「会議の開催回数、議事要旨等の掲載場所がわかる資料」		

観点 4－2－② 危機管理を含む安全管理体制が整備されているか。

【留意点】なし。

観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。

■ 満たしていると判断する

自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 学校として、責任の所在を明確にした危機管理を含む安全管理体制を整備しているか。 ■ 整備している	◇規程等、整備状況がわかる資料 資料4-2-2-(1)-01 「安全管理体制に関する規程（危機管理規程）」 資料4-2-2-(1)-02 「安全管理における連絡体制がわかる資料（緊急時の連絡体制）」 資料4-2-2-(1)-03 「安全管理における連絡体制がわかる資料（緊急連絡表）」 資料4-2-2-(1)-04 「安全管理における連絡体制がわかる資料（学生の事故・怪我等に係る連絡体制）」		
(2) 危機管理マニュアル等を整備しているか。 ■ 整備している	◇危機管理マニュアル等の資料 資料4-2-2-(2)-01 「危機管理マニュアル等の資料（危機管理マニュアル）」 資料4-2-2-(2)-02 「危機管理マニュアル等の資料（学生に係る重大事件・事故対応マニュアル）」 資料4-2-2-(2)-03 「危機管理マニュアル等の資料（学生生活指導の手引き）」		
(3) (1)(2)に基づき、定期的に訓練を行うなど、危機に備えた活動を行っているか。 ■ 行っている	◇訓練や講習会等の実施状況がわかる資料 資料4-2-2-(3)-01 「訓練や講習会の実施状況がわかる資料（防災訓練実施要領・救急訓練）」 資料4-2-2-(3)-02 「訓練や講習会の実施状況がわかる資料（学寮防災避難訓練実施要項）」 資料4-2-2-(3)-03 「訓練や講習会の実施状況がわかる資料（学寮避難訓練（火災）実施要領）」 資料4-2-2-(3)-04 「危機に備えた活動がわかる資料（災害備蓄）」		

観点4-2-③ 外部資金を積極的に受入れる取組を行っているか。

【留意点】

○ 過去5年間の外部資金について、明確な獲得方策（獲得のための取組。）を有するか、十分な獲得実績があるか等について、分析すること。

観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。

■ 満たしていると判断する

自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 外部の財務資源（科学研究費助成事業による外部資金、受託研究、共同研究、受託試験、奨学寄附金、同窓会等からの寄付金等）を積極的に受入れる取組を行っているか。	◇過去5年間の科学研究費助成事業による外部資金、受託研究、共同研究、受託試験、奨学寄附金、同窓会等からの寄付金等、外部の財務資源の受入れへの取組及び受入実績に関する資料 資料4-2-3-(1)-01 「過去5年間の外部の財務資源の受入実績に関する資料」		
■ 行っている			
(2) 公的研究費を適正に管理するシステムが整備されているか。	◇管理体制がわかる資料（規程等） 資料4-2-3-(2)-01 「公的研究費等の取扱いに関する規程等（コンプライアンス推進副責任者）」		
■ 整備されている	資料4-2-3-(2)-02 「公的研究費の管理体制に関する規程等（寄附金事務取扱規程）」		
	資料4-2-3-(2)-03 「公的研究費の管理体制に関する規程等（共同研究取扱規程）」		
	資料4-2-3-(2)-04 「公的研究費の管理体制に関する規程等（受託研究取扱規程）」		
	資料4-2-3-(2)-05 「公的研究費の管理体制に関する規程等（受託試験取扱規程）」		
	資料4-2-3-(2)-06 「公的研究費の管理体制に関する規程等（科研費補助金取扱規程）」		
	資料4-2-3-(2)-07 「公的研究費等に関する不正防止の取り組み（コンプライアンスマニュアルセルフチェック）」		
	資料4-2-3-(2)-08 「公的研究費等に関する不正防止の取り組み（不正防止動画の聴講）」		
	資料4-2-3-(2)-09 「公的研究費等に関する不正防止の取り組み（包括的誓約書の提出）」		
	資料4-2-3-(2)-10 「公的研究費等に関する不正防止の取り組み（コンプライアンス・マニュアル）」		
	資料4-2-3-(2)-11 「公的研究費等に関する不正防止の取り組み（内部監査マニュアル）」		

観点4-2-④ 外部の教育資源を積極的に活用しているか。

【留意点】

- 高等専門学校の教育研究の基盤としての、地域や同窓会等を中心とする外部教育資源、又は退職技術者を含む企業人等の教育研究的資源の活用について分析すること。
- 「社会とともに次世代の技術者を育成する」協働教育の理念を実践する活動例について分析すること。
- 財務的資源については、観点4-2-③で分析し、ここでは教育資源、研究的資源について分析すること。
- 提示する資料の例としては、次のものを想定している。（全ての取組を求めているものではない。）
 - ・ 高等教育機関の間で締結している学生・教員交流等、外部の機関の持つ教育力の活用例の資料（協定等を含む。）
 - ・ 産学連携関係の共同研究や共同教育の実施例の資料
 - ・ 地域や同窓会等の有識者や経験者による授業、実習、課外活動等の指導支援に関する資料
 - ・ 地域にある教育設備（図書館、博物館等。）、体育施設の利用及び支援がわかる資料
 - ・ 地域の催事等を含む地域社会との交流体験実施例の資料

観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。

■ 満たしていると判断する

自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 外部の教育・研究資源を活用しているか。 ■ 活用している	◇活用状況がわかる資料		
	資料4-2-4-(1)-01 「工場見学実施」		
	資料4-2-4-(1)-02 「インターンシップ実習先一覧」		
	資料4-2-4-(1)-03 「CO-CP教育」		
	資料4-2-4-(1)-04 「やまがた創生便り」		
	資料4-2-4-(1)-05 「大学コンソーシアムやまがた概要・加盟機関」		
	資料4-2-4-(1)-06 「特別講義依頼文書（外部講師による特別講義）」		
	資料4-2-4-(1)-07 「鶴岡高専技術振興会規約」		
	資料4-2-4-(1)-08 「JST ACCELプロジェクトに基づくコンソーシアム間共同研究変更契約書」		
	資料4-2-4-(1)-09 「国内外大学等、企業等との協定一覧」		

観点 4－2－⑤ 管理運営のための組織及び事務組織が十分に任務を果たすことができるよう、研修等、管理運営に関わる職員の資質の向上を図るための取組（スタッフ・ディベロップメント）が組織的に行われているか。

- 【留意点】
- ファカルティ・ディベロップメントに関連した教育の質の向上や授業の改善に関する教育支援者に対する取組は観点 2－4－③で分析するため、ここでは、スタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）への取組を分析すること。
 - SDとは、事務職員等のほか、教授等の教員や校長等の執行部に対し、教育研究活動等の効果的な運営を図るため、必要な知識及び技能を習得させ、その能力及び資質を向上させるための研修（管理運営等の研修）のことをいう。

関係法令 （設）第10条の2

観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。

■ 満たしていると判断する

自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) SD等を実施しているか。	◇規程等の資料		
■ 実施している	資料4-2-5-(1)-01 「SD（研修）に関する規程（教職員就業規則）」		
	資料4-2-5-(1)-02 「SD（研修）に関する規程（教職員の研修に関する規則）」		
	◇実施状況（参加状況等）がわかる資料		
	資料4-2-5-(1)-03 「SD（研修）への参加状況がわかる資料」		

4－2 特記事項 この評価の観点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

評価の視点

4－3 学校の教育研究活動等の状況やその活動の成果に関する情報を広く社会に提供していること。

観点 4－3－① 学校における教育研究活動等の状況についての情報（学校教育法施行規則第172条の2に規定される事項を含む。）が公表されているか。

- 【留意点】
- 高等専門学校の教育研究活動の状況や、その活動の成果に関する情報を、わかりやすい表現やアクセスしやすい手段を用いて、社会に発信しているか分析すること。

関係法令 （施）第172条の2、（施）第165条の2、学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の施行について（通知）22文科高第236号平成22年6月16日

観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。

■ 満たしていると判断する

自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考	再掲
(1) 教育情報を法令に従い適切に公表しているか。（該当する選択肢にチェック■する。） ■ 高等専門学校の教育上の目的及び学校教育法施行規則第165条の2第1項の規定により定める方針 ■ 教育研究上の基本組織 ■ 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績 ■ 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況 ■ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画 ■ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準 ■ 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境 ■ 授業料、入学科その他の高等専門学校が徴収する費用 ■ 高等専門学校が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援	◇刊行物の該当箇所がわかる資料		
	資料4-3-1-(1)-01 「教育情報の公表状況が確認できる資料（鶴岡高専HP）」		
	資料4-3-1-(1)-02 「教育情報が掲載されている刊行物（学校総覧）」		
	資料4-3-1-(1)-03 「教育情報が掲載されている刊行物（研究シーズ集）」		
	資料4-3-1-(1)-04 「教育情報が掲載されている刊行物（鶴岡高専だより）」		
	◇【別紙様式】ウェブサイト掲載項目チェック表		
	資料4-3-1-(1)-05 「ウェブサイト掲載項目チェック表」		
4－3 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。			

基準 4

優れた点			
改善を要する点			